

第3回アジア域の化学輸送モデルの現状と今後の展開に関する研究集会

日時 2017年12月1日から2日

場所 九州大学応用力学研究所 多目的研究交流室W601

プログラム

13:30 趣旨説明 鶴野 伊津志、森野 悠

13:40 茶谷 聡 (国立環境研究所) 2013年夏のオゾン濃度再現性と感度解析

14:05 永島 達也 (国立環境研究所) 東アジアの地表オゾン濃度再現性に関するモデル間相互比較 : MICS Asia III の初期結果

14:30 山地 一代 (神戸大学) モデル間相互比較研究 (J-stream) における粒子状物質の再現性について

14:55 櫻井 達也 (明星大学) 二次粒子生成に対する NH₃ 排出構造の不確実性評価

15:10 堀江 洋佑 (公財 ひょうご環境創造協会) TBD

15:35-15:50 休憩

15:50 浦西 克維 (大阪大学/奈良県くらし創造部景観・環境局) 大気質モデルを用いた 2010 年度の日本における硝酸塩濃度に対する発生源寄与解析

16:15 森川 多津子 (日本自動車研究所) 2015 年の PM2.5 濃度の低下と気象要因の影響について

16:40 鶴野 伊津志 (九州大学応用力学研究所) 速報「PM2.5 越境問題は終焉に向かっているのか？」は本当にそうなるか？

17:05 森野 悠 (国立環境研究所) 大気シミュレーションによる凝縮性ダストの寄与評価

17:30 猪股弥生 (ACAP) 北東アジアにおける 1-ニトロピレン二次生成量評価

18:15 懇親会 (キャンパス内のカフェテリア 会費 1500 円程度)

2日午前

9:00 原 正之 (埼玉県環境科学国際センター) 総観規模気象場の分類の自動化について

9:25 早崎 将光 (日本自動車研究所) 数値モデル比較用の格子点化 PM2.5 測定値

9:50 王 哲 (九州大学応用力学研究所) Importance of dust and sea salt heterogeneous reactions on nitrate deposition over East Asia

10:15-10:30 休憩

10:30 北山 響、森野 悠 (国立環境研究所) 福島原発からの放射性セシウム輸送沈着過程におけるモデル相互比較

10:55 弓本桂也 (九州大学応用力学研究所) 「エアロゾル版再解析プロダクト - The Japanese Reanalysis for Aerosol (JRAero)」

11:20 常松 展充 (東京都環境科学研究所) WRF-CMAQ による気候変化シミュレーション等について

11:45-12:00 議論